

米軍基地でコロナ急拡大

新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」の急速な感染拡大に伴い、沖縄県など全国各地の米軍基地で感染が急激に拡大し、基地周辺での市中感染の引き金になっており、国民の命・暮らしを脅かしています。

沖縄県では4日、米軍基地内で新たに164人の感染を確認。累計の感染者数は3863人に達しました。大規模クラスター（感染者集団）が発生したキャンプ・ハンセンが最多の1

206人ですが、それ以外でも嘉手納787人、キャンプ瑞慶覧515人、普天間303人などとなっています。

岩国基地（山口県岩国市）でも5日、米軍関係者182人から新型コロナウイルスの感染を確認。沖縄県と岩国市では同時期に日本人の感染も急拡大しています。



マスクをせず、談笑する米軍岩国基地の兵らら。2020年12月7日、山口県岩国市

ずさんな水際対策 日米地位協定改定こそ

認。同県によると、当該感染者は三沢基地の関係者だといっています。

横須賀基地（神奈川県横須賀市）では、昨年12月30日までの8日間で米軍関係者75人の感染を確認。うち大半は最近入国したばかりでした。その後の感染状況の発表はなく、不安が広がっています。

横田基地（東京都福生市など5市1町）では5日、新たに65人の感染を確認。うち57人は昨年12月29日以降に判明しました。57人のうち30人は米本土から入国した際の検査で陽性となりました。

佐世保基地（長崎県佐世保市）でも、昨年12月28日

までの8日間に16人、同29日と今年1月5日に16人の感染が確認されました。

全国の米軍基地での感染拡大の背景に、米軍に特権を保障している日米地位協定によって、米軍関係者が検疫を免除されている実態があります。しかも、全ての来日する米軍関係者について出国時のPCR検査が免除されていたなど、ずさんな運用が発覚。到着後の検査も5日以内となっていました。今年に入り、米軍は24時間の検査に切り替えましたが、既に手遅れです。一刻も早い地位協定の抜本改定で、入国禁止や検疫の対象にすべきです。

（斎藤和紀）

